

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0609
施設名	丸子ベビー保育園
施設所在地	大田区下丸子3-21-17
法人名	社会福祉法人みくに会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

春の準備と成長

<テーマの設定理由>

卒園や進級を控えた時期に、園児の成長と新しい季節の始まりを意識できるテーマにし、冬から春への季節の移り変わりを感じながら、子どもたちが自然の変化や自分たちの成長を実感できる内容にするため。

## 2. 活動スケジュール

2月～3月

- ・①「楽しみ」と「不安」について学ぶ。「不安」とはどういうことかを考える。
- ・②保護者アンケートと子どもたちが感じていることの違いを比較する。おうちの人や兄姉に、小学校について聞いてみたいことを考える。
- ・③「保育園と小学校の違い」を話し合う。小学校の違いを整理し、知りたいこと、聞いてみたいことを話し合い、小学校体験へとつなげる。
- ・④小学校体験の行事に参加する。行事を通して感じたことを皆で共有し、「知ることで不安は減る」ということに気づく。
- ・⑤「楽しみと不安」「保育園と小学校の違い」「小学校体験」について、感じたこと、考えたこと、わかったことを振り返る。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・保護者アンケートを取り、事前に結果内容を反映させた資料（スライド）を作成する。
- ・意見を可視化できるように、保育者がポストイットにメモしながら進める。
- ・楽しみながらできるように、保育室を半分に分けて移動する参加型ゲームを取り入れる。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・①資料を使って「楽しみ」と「不安」について学ぶ。「小学校で楽しみにしていること、不安なことって何かな？」と問いかけ、自由に意見を出し、ポストイットに書き出す。ポストイットで仲間をつくりどんなことに不安なことがあるか話し合う。「不安」とはどういうことかを考える。
- ・②就学に向けた保護者アンケートを実施。また、同じテーマで子どもたちが質問に答えて移動する「たのしみふあんゲーム」を行い、結果を集計し、違いを比較する。「不安なことは悪いことじゃない」「知ることによって不安は減る」ということをスライドを使って説明する。おうちの人や兄姉に、小学校について聞いてみたいことを考える。
- ・③兄姉に聞いたことを発表し共有する。グーグルマップで就学先の小学校を見してみる。「保育園と小学校の違い」を話し合い、保育者がポストイットに書きながら意見をまとめ、ホワイトボードに貼る。小学校の違いを整理し、知りたいこと、聞いてみたいことを話し合い、小学校体験へとつなげる。
- ・④小学校体験の行事に参加する。知りたいこと、聞いてみたいことを実際に見たり聞いたりしてみる。見たり聞いたりしたこと、感じたことを皆で共有し、就学への期待を高める。
- ・⑤「楽しみと不安」「保育園と小学校の違い」「小学校体験」について、それぞれ思ったこと、わかったことを発表し、意見を共有する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・不安とは何かという問いに対して、「はずかしい」「どうしよう」「かなしい」「いらいらする」「きんちょう」「わからないこと」など、次々と意見が出た。
- ・「楽しみ」と「不安」を挙げた中で、楽しみが不安より多く意見が出され、「たのしみの方が多だね」と気づいていた。
- ・「学校に行くときに時計がなくて時間がわからないから不安」という意見に対し、「早く出ればいいんじゃない？」と、解決案も出され、子どもたち自身で話し合いを展開していた。
- ・どんなことが不安かという問いに、「授業中、トイレにいきたくならないか」「忘れ物がないか不安」「お友達ができなくてひとりぼっちだったらどうしよう」など、具体的な意見がたくさん出されていた。
- ・アンケートの比較では、「子どもはたのしみが多い、不安がすくない」「ふあんがひとつもないものもある」「たのしみと不安が同じ数のものもある」と、グラフから読み取っていた。
- ・小学校体験では、「このまえの質問聞いてみようかな」「理科室どこかな」と、探究学習での学びを意識し、緊張しながらも目的をもって参加している。
- ・小学生が披露してくれた「おかしあそび」について興味を持ち、他にはどんな遊びがある



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・「楽しいと不安って何が違うんだろう？」という問いに、子どもたちの言葉で負の感情を表現しており、今の気持ちを客観的にとらえている姿が伺えた。これからの活動についても、興味のあることを取り入れ、自己表現能力を引き出す環境づくりができるように工夫したい。
- ・どの問いかけに対しても、次々に意見が出され、積極的に参加していた。ポストイットに貼ったことにより、友だちの意見が可視化されて、比較したり、同調したり、解決策を考えてみたりすることができた。
- ・兄姉からの回答を発表すると、実際の小学生の言葉ということで、子どもたちに伝わりやすく、非常に納得した表情であった。
- ・小学校の参加行事では、例年だと緊張が先行してしまっていたが、小学校体験に向けて探究活動を行うことで、小学校について考えたり、自分や仲間の不安、期待を考える機会となり、当日は「これを見よう」という目的意識をもって参加できていた。
- ・振り返りでは、「お手玉やフラフープができるってわかった」「先生がやさしいってわかった」など、小学校体験を振り返って具体的なイメージを膨らませている様子が伺えた。